

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名	真田地域自治センター
-------	------------

【平成27年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
重点目標	NHK大河ドラマ「真田丸」放送に向けた体制づくりの推進		
1	ゆきむら夢工房拠点化整備（ハード・ソフト事業） ・施設の一体的整備（ハード）、地域おこし協力隊による施設運営・管理（ソフト） 真田氏ゆかりの史跡等に関する整備 ・史跡等へのアクセス道路整備、駐車場、トイレ、案内看板、景観整備等 ・真田氏館跡、真田氏本城跡の整備 真田の郷周遊観光バス運行 真田三代語り部の会運営支援 真田氏歴史館特別展の開催 真田氏を学ぶ講座開催 地域との協働による案内説明看板等整備	12月までにハード整備 7月以降の地域おこし協力隊制度活用 10月までにアクセス道路等整備 12月までに駐車場、トイレ、景観等整備、 支障木伐採、土塁保護柵設置 10・11・3月の土日祝祭日の運行 年度内の常設運営支援 期間中の目標入場者10,000人 ⑥年度内2講座以上の開催 12月までに案内看板等整備	・駐車場整備工事を9月に発注し12月完成の予定 今後バス停の上屋などバス停車帯関連整備を年度内完成の予定 ・外構整備工事は駐車場出入口の拡幅や舗装と区画線の更新工事を9月に発注し、12月完成予定 ・8月1日から地域おこし協力隊員を配置し、ゆきむら夢工房をはじめとする、真田地域の魅力を地域内外に情報発信中 ・史跡等へのアクセス道路整備は一部を残し発注済、年内完成予定 ・駐車場、トイレなどの工事を4月から着手し12月完成予定で施工中 ・真田氏本城跡の支障木伐採、真田氏館跡の松・つつじ等の枝払いや除伐等を実施、土塁の一部に保護柵を設置 上田バス㈱に委託して、10月3日（土）から運行開始 10月・11月・3月の土日・祝日に運行予定 4月から観光客への館内ガイドや紙芝居の披露等を実施 語り部の会の活動に必要な消耗品購入等による運営支援を実施 特別展を7月18日～8月31日開催 入館者数10,694人（前年比9%増） 全5回の講座を企画し10月から開催予定、120人の定員に達する 真田氏館跡及び真田氏本城跡を管理する団体が魅力アップ応援事業の採択を受け取り組み中
重点目標	地域内分権確立に向けての「地域経営会議」の設立		
2	地域協議会、自治会長会における「地域内分権」についての調査研究・検討 地域住民への周知・説明、意見聴取 「地域経営会議」の設立	先進地視察の実施 「地域経営会議」の組織、規約等の検討 自治センターだよりによる周知 地域づくり委員会、各種団体等からの意見聴取 年度内	6月26日三重県松阪市の「住民自治組織」を視察 9月から「地域経営会議設立に係る検討会議」において、組織、規約等の検討を開始 5月、7月、9月の各号で情報記事を掲載 7月 全36自治会の地域づくり委員会で説明と意見聴取を実施 8月から各種団体との懇談会を開催し、9月末現在12団体と意見交換 10月5日住民説明会を開催の予定 検討会議で検討を重ね、年度内の設立を目指す
重点目標	菅平高原スポーツリゾート地の整備促進		
3	サニアパーク指定管理者制度への移行検討 菅平高原スポーツ振興施設整備の推進 菅平高原植生環境保全に向けた体制検討	指定管理者制度への移行検討 年度内のシティプロモーション推進室 との連携による推進 菅平高原植生環境保全に向けた体制検討	4月と7月、地元の利用団体から施設の利用状況や利用形態、今後の運営希望について聞きとりを実施 振興施設の整備について、シティプロモーション推進室と連携を図り、平成28年度からの実施計画登載に向け検討 根子岳・四阿山保全協議会を母体とした体制整備を推進
重点目標	地域公共交通の推進		
4	真田地域協議会、真田地域自治会連絡会議への説明のほか、チラシや有線放送によるPRの積極的推進 バス利用促進イベントの開催 真田地域公共交通利用促進協議会主催により各種イベントを開催 真田地域公共交通利用促進協議会の総会及び役員会の開催	会議等開催に併せて随時実施 6月末から七夕バスイベントを開始、 真田まつり、クリスマス等に合わせ て各種イベントを開催 総会7月、役員会随時開催	7月に全36自治会の「地域づくり委員会」で運賃低減バスの利用促進チラシを配布し、路線バス利用を呼びかけ 6月から7月にかけて行われた各高校の真田支部PTA総会において、運賃低減バスの利用促進チラシを配布 9月に真田地域内路線バス時刻表を作成し、真田地域内に全戸配布 7月7日から1ヶ月間、保育園、幼稚園の年長園児の絵画94点を展示する「七夕バス」を運行 併せて各園において、年長園児によるバス乗車体験を実施 7月25日から8月18日まで、小学生以下の「キッズバス」イベントの実施に併せて、真田地域内で「スタンプラリー」（6箇所）を実施 8月1日の真田まつりで路線バス乗車体験を行い、運賃低減バスの利用促進チラシを配布、500人余が見学 9月15日から10月14日まで、「回数券/定期券特別販売企画」を実施し、期間中に回数券または定期券購入者に粗品をプレゼント 7月3日に総会を開催し、正副会長を選出し、平成26年度事業報告及び決算報告、平成27年度事業計画及び予算を承認 併せて運賃低減バスの利用状況、周遊観光バスの概要を会員に報告 5月20日に第1回役員会を開催し総会（7月3日）の議案、報告事項を審議
重点目標	地域防災活動の推進		
5	自主防災組織の育成 (1)自主防災組織リーダー研修会の実施 (2)総合ハザードマップの利活用の促進 防災訓練の実施 (1)広域避難訓練の実施（重点地区） (2)重点地区以外では、自治会単位での防災訓練の実施 (3)有線放送の伝達情報の即時性を活用した防災訓練の実施 災害時要援護者登録制度の利活用 (1)自治会防災訓練での活用の働きかけ (2)更新作業を通じた登録同意率の向上 (3)関係機関と連携し、地域の見守り活動の一環として推進	(1)6月までに、36自主防災組織を対象に実施 (2)年度内に、ハザードマップを利用した研修会の実施 (1)8月に、傍陽地区を重点地区に定めて実施 (2)11月までに、各自治会で、地元の消防団と連携した防災訓練を実施 (3)各種防災訓練において、有線放送を活用 (1)1月までに、全自治会への説明3回 (2)年度内に随時実施 (3)年度内に、社協、民生児童委員会での周知等の実施4回	(1)5月19日 自主防災組織リーダー研修会を開催し、自主防災組織の役割、防災訓練の実施要領、火災予防等についての研修を実施 (2)総合ハザードマップが作成・配布され次第、研修会実施予定 (1)8月29日傍陽地区の傍陽小学校を会場に広域避難訓練を予定していたが、大雨洪水警報の発令により中止 (2)広域避難訓練以外の一次避難訓練は、長地区5か所、傍陽地区2か所、本原地区3か所で実施 (3)上田市防災訓練への参加を有線放送で呼びかけ、啓発を実施 8月29日の広域避難訓練中止の連絡を、速やかにページング放送にて市民に周知 (1)5月19日自主防災組織リーダー研修、7月に全36自治会で開催の地域づくり委員会、7月24日傍陽地区防災会議で説明 (2)本庁福祉課及び民生児童委員等と連携し、自治会単位の更新作業を随時実施 (3)7月13日民生児童委員協議会で打合せ 福祉委員・福祉推進委員には10月末の真田地区社協住民会議で説明を予定

評価基準 [] : 目標を上回る進捗 [] : 目標どおり進捗 [] : 未進捗の部分あり [x] : 全て目標未進捗

市長指示事項	・地域経営会議の設立にとどまらず、住民自治組織設置に向けて取り組むこと。・菅平高原スポーツ振興施設については、遅延のないよう取り組むこと。・総合ハザードマップは利活用を図ること。
--------	---